

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 11月 15日

公表: 令和 6年 12月 6日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス いろは第一単位

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	机の配置等を工夫し、広く使えるようにしています。	法令に遵守したスペースを確保しています。また、お子様が活動できる広さも確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	7	1	利用者の追加、キャンセルに伴い都度、職員配置数の調整をしています。	利用人数に対しての法的な職員配置は出ています。お子様の状態や送迎時に同業が必要な際は、加えて職員配置を考慮していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか	7	1	寒さ対策に伴い、床上げを行っています。また、歩行が困難なお子様に対しては、職員が付き添っています。階段は、必ずお子様と職員が手を繋ぎ使用しています。	建物の構造上、段差が多く危険と感ずる箇所があります。定期的に施設整備やリフォーム等を行い、お子様が過ごしやすい環境づくりに努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	お子様の状態に合わせて静と動のスペースの確保をしています。	都度快適に過ごせるよう、定期的に環境の見直しを行っています。また、静養室を活用したり、机の配置を活動ごとに移動させたりと心地よくのびのびと過ごせる環境づくりに努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や環境を使用することが認められる環境になっているか	8			必要に応じて静養室を利用できるように環境を整えています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	8			日々の申し送りや振り返り、月に1回以上の施設会議を通して、情報を共有しています。連絡ノートを活用し、全職員に周知しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	8			評価表やアセスメントシートの活用、懇談、家庭連携・事業所内相談をもとに聞き取りを行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	8			毎月の施設会議時や定期的な個人面談にて、意見を共有・把握し、業務改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8			必要に応じて第三者評価を行っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	8			定期的(年3回以上)に社内研修を行っています。また、外部研修にも可能な限り参加しています。内容についても参加者にアンケートを取る等して意見を取り入れて行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	8			今年度から作成し、公表していきます。(2025年度義務化)
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			契約時及び年2回懇談を行い、アセスメントを取っています。アセスメントをもとに個々に適した放課後等デイサービス計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通認識の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	8			定期的なケース会議や朝礼時や昼礼時にお子様の状況や変化を共有し、保育士、児童指導員等、様々な専門的意見を反映しながら共通理解の下で検討しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか	8			個々の放課後等デイサービス計画の内容を職員間で共有し、計画に沿った支援を心掛けています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	8		アセスメントの内容を定期的に見直し、改善しています。	標準化されたアセスメントシートを活用し、お子様の状況把握を行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			年に2回(必要に応じてその都度)アセスメントやモニタリングを行い、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」の中から個々のお子様(適切な項目で、具体的な内容を設定しています)。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			日々の振り返りや施設会議を中心にプログラムを決めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			週替わりでプログラムのテーマを決めています。各職員がテーマに添ったプログラムを考えることで、固定化しないよう工夫しています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動を集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか	8			アセスメントシートやモニタリングをもとに、個別活動と集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	8			毎日朝礼と昼礼を行い、連絡事項や1日の流れ、役割分担を確認しています。また、連絡ノートを活用し、職員に周知出来るようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	口頭のみならず、連絡ノート、お帳面、各報告書を活用し、気づいた点を共有しています。	送迎ルートにより帰りの時間が異なる為、翌日の朝礼時、昼礼時に振り返りを行っています。また、連絡ノートを活用し、情報を共有しています。
	22	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			連絡帳の複写を記録として残しています。翌日の申し送り後に振り返りを行い、課題や問題点に関しては、会議を通して改善に繋げています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	8			年2回モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか	8			ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか	8			個々に合わせた活動を提供することで、こどもが自己選択できるような工夫し、自己決定する力を育てるための支援を行っています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	8			児童発達支援管理責任者を中心に、日頃から支援に携わっている職員が参加しています。その際、記録を残し、全職員に周知しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	7	1		アセスメントシートに病院名や主治医を記載していただいたり、健康調査票にお子様の健康状態を記載していただいたりして連絡体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画、行事予定表等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			新しいお子様が利用される際、学校や保育園等に連絡し挨拶へ伺っています。また、送迎時や電話連絡を使用し、下校時刻の確認や情報交換を行っています。また、学校への送迎時にお子様の様子や行事予定などの情報共有も行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			必要に応じて担当者会議を行い、情報共有と相互理解に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			必要に応じて担当者会議を行い、情報共有と相互理解に努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	8			児童発達支援センターいっほも連携を図り、助言等を求めています。また、外部研修にも積極的に参加していくよう努めていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	4	3	年齢的に児童館等には行っていません。お子様の特性や状態に合わせて公園や公共施設へ出かけ、地域の方との交流を図っています。	感染症対策を行いながら、地域のイベントや公園へ出かけると、障がいの無いお子様と関わる機会を設けていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8			小牧市こども連絡会へ積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			年2回の懇談や家庭連携相談、連絡帳等を活用し保護者様と情報交換を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	7	1		年2回の懇談や家族支援、連絡帳等であがってきた問題点に対し、職員間で話し合い、速やかに助言が行えるようにしています。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	8			年2回の懇談や家族支援、連絡帳等こどもや家族の意向を確認する機会を設けています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	8			年に2回個人懇談を行い、放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容を説明し、同意を得た上でサインをいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	8		親御様からの相談や会話の内容を職員間で共有し、迅速に対応できるよう心掛けています。	悩みや相談があがってきた際は、職員間で話し合い、適切な助言が行えるようにしています。

保護者への説明責任等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	8			必要に応じて、保護者様同士の交流が図れるイベントを企画していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		必要に応じて、保護者様及び職員等に聞き取り調査を行い、迅速に対応しています。また、苦情報告書を作成し、全職員に周知しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			月に1回以上、通信の発行、ブログの更新を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか	8			入社時の契約の際に、全職員と誓約書を交わしています。また、申し送り時に個人情報の留意について共有しています。お子様の個人ファイルについては、鍵付きの書庫で保管しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			お子様に関しては個々に応じて指差しやボード、ジェスチャー等を活用しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	事業所の行事に招待することはないが、消防署見学や民間施設へ出かけ、地域交流を図っている。	地域への参加はできているが、地域住民に関しては、個人情報の兼ね合いもある為、必要に応じて検討していきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8			職員に関しては、契約時に誓約書を頂いています。また、鍵付きの棚を活用し、個人情報の管理を徹底しています。
非常時等の対応	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練を行っているか	8			業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、年2回以上は、火災や地震等様々な災害を想定した避難訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8		インフルエンザワクチン等の予防接種をする前の注意事項の確認や接種後の自宅や学校での様子を共有させていただいております。	契約、懇談時に必ず確認しています。確認した内容については、すぐに確認できるよう事務所に掲示します。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		食物アレルギーをお持ちのお子様は、保護者様から医師の指示をお伺いし、対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	8			安全計画を作成し、全職員が閲覧できるようにしています。また、定期的に研修や訓練も実施し、安全管理が十分された中で支援しています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	8			懇談時に伝えたり、通信やブログ等で発信したりしています。また、玄関に掲示し、自由に閲覧して頂けます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている	8			ヒヤリハット事例があった際は、ヒヤリハット報告書を作成し、申し送り時に全職員に周知しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			年に1回、映像や事例等を用いて、虐待をテーマにした研修を行っています。また、チェックリストを活用しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			定期的に身体拘束適正化委員会を中心に話し合っています。現在、該当者はいませんが、該当者がいる場合は迅速に対応し、保護者様の了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。